

2015年度 大阪信愛女学院中学高等学校 学校自己評価

長期的重点テーマ	命を育む女子教育
2015年度の重点テーマ	信じ合い、愛し合う心をみんなのなかに
今年度の重点目標	命を育む者にとって、己を信じ、他者を信じること、己を正しく愛し、他者を正しく愛することは、命を育むものの基本でありながら、また到達点でもある。その具体的な手段として、挨拶を通して互いの人間としての尊厳を認め合い、静かな黙想の時間を通して、一人の存在としての自己の尊厳についても確かめる機会を持つようにする。

下記のそれぞれの評価項目について、A～Dの評価のうちいずれか1つを教えてください。

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない								
学 校 運 営	私学の 独自性	1	建学の精神について	建学の精神が教職員、生徒・保護者など、学校関係者などによく浸透している。	A	B	C	D
		2	愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りや愛着を持っている。	A	B	C	D
		3	カトリックの教えに基づく教育	宗教に基づく教育に対する生徒・保護者の理解がある。	A	B	C	D
		4	家庭との連携	学校に対する保護者の期待・要望を把握している。	A	B	C	D
	教育課程	5	教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	A	B	C	D
		6	教育課程の見直し	コース・類型に応じた見直しを行っている。	A	B	C	D
	教員間連携	7	教員・教科間連携状況	教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	A	B	C	D
		8	会議の有効性	会議の内容の精選と検討事項の事前での伝達を行っている。	A	B	C	D
	財務関係	9	財務に関する意識と財務状況	学校の経営指標と財務状況について理解し、予算・決算の状況について把握している。	A	B	C	D
	情報公開	10	ホームページの活用状況	学校のホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	A	B	C	D
		11	授業公開状況	保護者などへ授業を公開している。	A	B	C	D
	危機管理	12	役割分担について	事故・事件・災害等に対処する役割分担や、備蓄・設備の状況を把握している。	A	B	C	D
		13	危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察・消防との連携、訓練などの安全対策は十分にとられている。	A	B	C	D
	開かれた学校づくり	14	地域交流について	地域住民との交流が行われ、地域行事への参加が盛んである。	A	B	C	D

学校運営	広報活動	15	校内説明会	説明会参加者に好印象を与えるような企画・運営をしている。	A	B	C	D
		16	中学校・塾訪問	中学校・塾への訪問が十分であり、新規開拓にも努めている。	A	B	C	D
		17	データの共有	各分野の分担を適正に行い、データを正確に処理し活用している。	A	B	C	D
教育内容	カトリック教育	18	心の教育	朝礼・終礼の実施、宗教行事、宗教の授業を通して心の教育を行っている。	A	B	C	D
	人権教育	19	研究体制	人権教育に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	A	B	C	D
		20	教育体制	人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で意識を高める教育を行っている。	A	B	C	D
		21	いじめ防止対策	生徒の日常の変化を教員間で共有し、いじめの早期発見、防止に努めている。	A	B	C	D
		22	障がい者対策	障がい者に対する支援を行っている。	A	B	C	D
	情報教育	23	情報能力育成	生徒の情報活用能力の育成を図っている。	A	B	C	D
		24	情報のモラル育成	情報の発信に伴う責任など、情報のモラル向上のための教育を行っている。	A	B	C	D
	環境教育	25	環境問題意識向上	ゴミ・リサイクル・省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	A	B	C	D
		26	実践的態度の育成	生徒に清掃・校内美化に取り組みさせている。また施設・設備を大切に作る心を育成している。	A	B	C	D
	教科指導	27	理解度の把握	個々の生徒の学力理解度を把握し、それに応じた指導ができています。	A	B	C	D
		28	能力の伸長	コース別・少人数授業など、個々の生徒の能力を伸ばすための体制ができています。	A	B	C	D
		29	教育機器の利用	教育機器を十分に活用している、	A	B	C	D
		30	模試などの分析活用	模試結果を共有し、学力向上に役立たせている。	A	B	C	D
	キャリア教育	31	キャリア教育の推進	高校1年生では全般に、2年生からはコース設定にも組織的・系統的にキャリア教育を取り入れている。	A	B	C	D
	学校行事	32	スポーツ活動	体育大会・球技大会などのスポーツに関する学校行事は盛んである。	A	B	C	D
33		文化・芸術活動	文化祭、観劇会などの芸術鑑賞、自然体験学習や修学旅行などの行事は十分に行われている。	A	B	C	D	
国際教育	34	国際理解の推進	修学旅行や海外研修なども含め、他国の歴史・理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を行っている。	A	B	C	D	
特別活動	35	部活動	部活動は活発である。	A	B	C	D	
	36	生徒会活動	生徒会活動や委員会活動を通して、生徒が主体的に活動できる体制が整っている。	A	B	C	D	
その他	37	読書推進	図書館の利用促進による読書指導に取り組んでいる。	A	B	C	D	

	その他	38	ボランティア	東北などの被災地支援を行い、困難に遭っている人々への関心を持ち、チャリティなどを含めたボランティア活動を積極的に行っている。	A	B	C	D
生徒指導・生徒支援	生徒指導	39	指導方針の一貫性と生活指導	学校の生徒指導は一貫した方針を持っており、かつ個々の生徒の状況に応じた生活指導が組織的に行われている。	A	B	C	D
		40	生徒会活動	生徒会活動・委員会活動を通して生徒が主体的に活動できるよう支援している。	A	B	C	D
	生徒支援	41	学習について	個々の生徒の実態に合わせた学習支援の方法の工夫・改善を行っている。	A	B	C	D
		42	進路について	生徒一人ひとりの興味・関心・適正に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	A	B	C	D
		43		併設短大との連携体制が整い、適切な進路指導が行われている。	A	B	C	D
		44	保健・衛生	体調不良・怪我等への対応は適切である。	A	B	C	D
45	保健室の機能は十分に果たされている。	A		B	C	D		
教員資質向上・研修	教員研修	46	教員の資質向上	教員間で授業内容を評価し、意見の交換などを行う機会がある。	A	B	C	D
		47	校内研修	身近なテーマの研修計画を立て、効果的な研修を行っている。	A	B	C	D
		48	初任者のサポート状況	初任者等、経験の少ない教員をサポートする体制がある。	A	B	C	D
		49	校外研修	教員が校外研修に参加できる体制が整っている。	A	B	C	D
		50	研修結果の共有	研修、研究に参加した成果を、教員間で共有する体制がある。	A	B	C	D
その他	事務室	51	接遇	事務室の保護者や来航者に対する対応が適切である。	A	B	C	D

特記すべき問題点	
具体的改善方策	